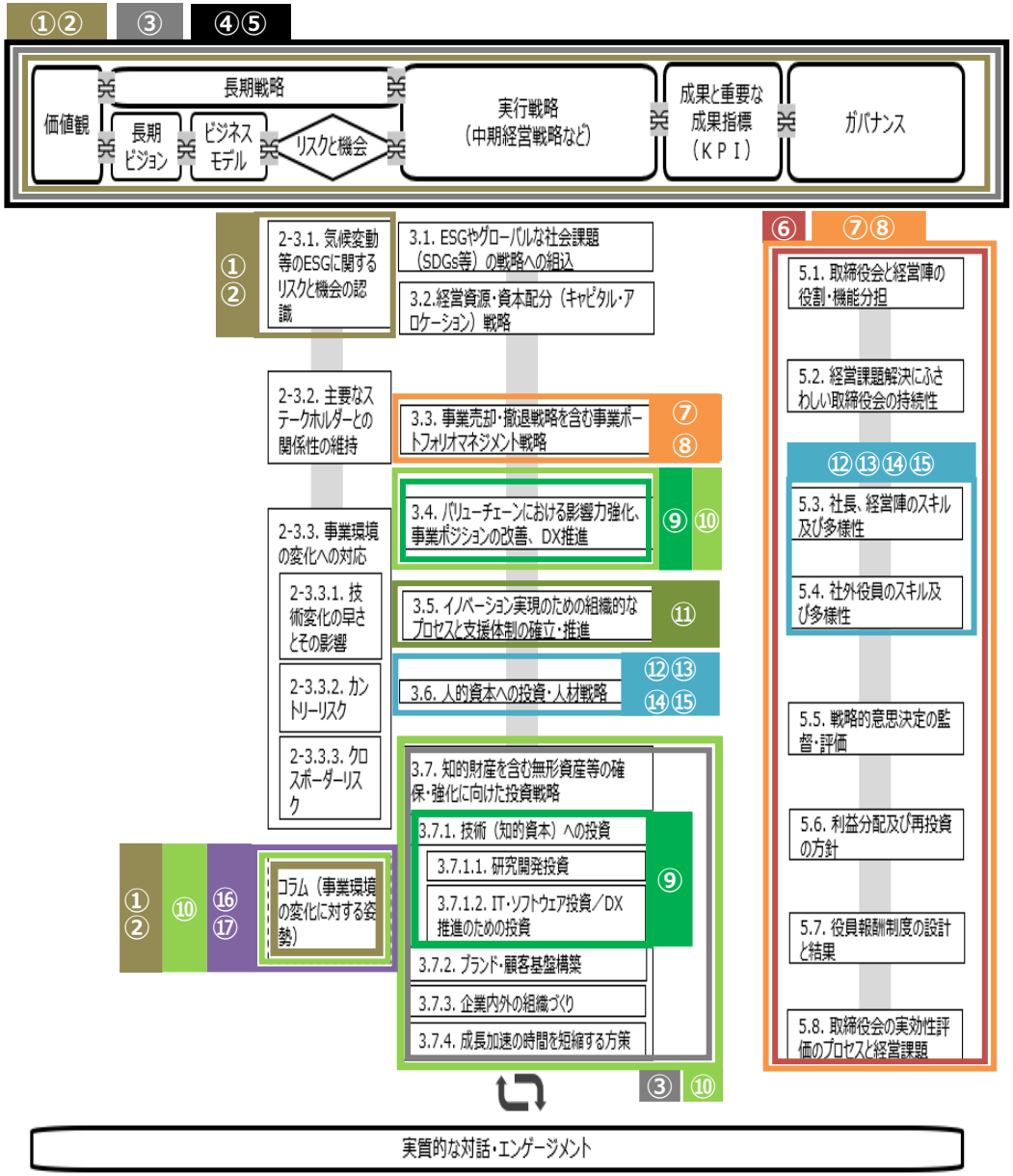
価値協創ガイダンス2.0と他のガイドライン等との関係図



● 特定の分野や業種を対象に価値創造ストーリー全体を更に深掘りする上で効果的なガイドライン等

- ① 気候関連財務情報開示に関するガイダンス3.0（TCFDガイダンス3.0）
- ② サーキュラー・エコノミーに係るサステナブル・ファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス

（*1）

- ③ 知財・無形資産ガバナンスガイドライン
- ④ 産業保安及び製品安全における統合的開示ガイダンス
- ⑤ バイオメディカル産業版「価値協創ガイダンス」

など

● 価値協創ガイダンス2.0上の各要素を更に深掘りする上で効果的なガイドライン等

- ⑥ CGSガイドライン
- ⑦ 事業再編ガイドライン
- ⑧ グループガイドライン
- ⑨ デジタルガバナンスコード2.0
- ⑩ 市場形成ガイダンス　～ルール形成型市場創出の実践に向けて～
- ⑪ 価値創造マネジメントに関する行動指針
- ⑫ 人材版伊藤レポート
- ⑬ 人材版伊藤レポート2.0
- ⑭ ダイバーシティ2.0行動ガイドライン
- ⑮ 人的資本可視化指針
- ⑯ 責任あるサプライチェーン等における人権尊重のためのガイドライン
- ⑰ サイバーセキュリティ経営ガイドライン

（*2）

など

※ ①～⑰のいずれについても、価値協創ガイダンスの構成や記述全体を踏まえつつ、価値協創ガイダンス2.0と併読して統合的に理解を深めることが望ましいが、本図では、①～⑰のそれぞれにつき、特に関連が深い価値協創ガイダンス2.0上の項目等を明示する観点から、相互の関係性を整理している。

（*1）①・②は価値協創ガイダンス2.0の2-3.1.等の要素を、③は同3.7.の要素を深掘りする上でも、効果的に活用することができる。

（*2）「ビジネスと人権」や「サイバーセキュリティ」は、価値協創ガイダンス2.0では「リスクと機会」のコラムで言及されているところ、他の分野と同様に、リスクと機会の分析を踏まえてどのように長期的な価値創造につなげていくかを検討する観点から、「実行戦略」の構築段階でも⑯・⑰を活用することが望ましい。